

# 協力者の取組（調査問題を生かした個人研究）について

## 1 実践計画書について

- ① 内容（申込みで（B）を希望した方にフォーマットを送付する。）
  - ・氏名，勤務先，研究実践の教科，学年
  - ・取組の視点や方向性
  - ・大まかな実践の予定

※ 実践を行う学年と教科，考える力を育てるための指導をどう進めていくか，今後の取組の視点や方向性をお示してください。
- ② 提出期限 6月30日（木）
- ③ 提出方法 書き込んだデータを添付ファイルで県小教研事務局に送る。  
k-shoken@niigata-inet.or.jp

## 2 実践報告書について

- ① 実践報告書の形式等
  - A4 2枚程度
  - ご記載いただく内容は，以下の通りです。

<p><b>ア 目指した子どもの姿</b> その教科，もしくはその単元においてどのような「考える力」を育てようとしているかを書く。「考える」内容が具体的であるほど，わかりやすくなる。</p> <p><b>イ 具体的な手立てと子どもの変容</b> 事実をもとにお示してください。写真やワークシートなどの記録をお使いいただくと，見やすくわかりやすいまとめになります。</p>
---

※一年間で何回実践をしても結構です。
- ② 参考資料
  - 昨年度の報告書（県小教研 HP）  
[http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/27/kaizentyousa/kyouryokusya\\_houkoku.html](http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/27/kaizentyousa/kyouryokusya_houkoku.html)
  - 「校内研修の手引き」（HP，『すくらe』にて掲載）
- ③ 提出期限 2月27日（月）
- ④ 提出方法 書き込んだデータを添付ファイルで県小教研事務局に送る。  
k-shoken@niigata-inet.or.jp

## 3 実践の内容について

- 「校内研修の手引き」に掲載している内容の実践を行うというわけではありません。「研修の手引き」を参考に，「自分ならこうする」という新しいアイデアをお示しいただくことも有効です。
- 一部の協力者の方には，研究機関誌「すくらe第9号」の原稿執筆を依頼することがあります。ご協力をお願いします。
- 子どもの写真やノートを使う場合，ホームページで公開することから，本人と保護者からの応諾が必要になります。

新潟県小学校教育研究会 事務局 貝沼浩晃 〒950-0908 新潟市中央区幸西3-3-1 じょいあす新潟会館2階 TEL 025-290-2231 FAX 025-245-6060 E-mail k-shoken@niigata-inet.or.jp <a href="http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/">http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/</a>
---